

歩こう会 臨時「愛岐トンネルの紅葉見学会」

2017年11月28日

愛岐トンネル群 散策マップ

トンネル入口

場内設備は全て保存会の手づくり。勝川駅プラットフォームの土台になっていた明治の赤レンガを移設。最寄の定光寺駅は、崖っぷちの秘境駅として知られています。



3号トンネル
SL実物大の大幕



4号トンネル
SLの通過音と汽笛が楽しめます。



大もみじ広場

愛岐トンネルのシンボル、県下最大級の巨木「大もみじ」。廃線には300本ものモミジが自生。秋には真っ赤なモミジのトンネルができていきます。

水車とモミジ谷

釘を一本も使わず会員手づくりの水車。広場の横には、何かにみえる巨石が...



マルシェ広場

公開時は多くの人で賑わいます。汽車土瓶、絵葉書の他、弁当などを販売。春には鯉のぼりが空を泳ぎます。

暗渠 あんきょ

廃線の下にあるレンガ製の水路。100年前の紅の輝きが残っています。玉野古道から入場できます。



6号トンネル

「くの字」に曲がっているため、中は真っ暗。壁や天井にはスズが残り、蒸気機関車が走っていた証跡が見えます。地上部にはモミジの群落「もみじ山」周回路が開設。春日井口は、全国唯一で公開の「インパート」が見もの！

城嶺橋

近くの山頂から名古屋城が見えることから名づけられました。現在は3代目。京都の四条大橋を模して造られました。

リユース橋

古レールを再利用した落石防護橋。1911年の八幡製鉄製の1919年のアメリカ・カーネギー社製などの刻印が確認できます。

竹林と東屋

廃線唯一の竹林。廃材を利用して建てた東屋では星茶(有料)サービスを行っています。川のそばには、子供に人気の巨大なターザンブランコが。

4号トンネル

モミジのトンネルをくぐると4号。トンネルの中をSLが汽笛を鳴らして走り抜ける音響効果は臨場感たっぷり！

レンガ広場

廃レンガ敷きのステージで週末はコンサートが開かれます。広場には全国初の「SL・CS7の動く動輪」を展示。自転車の動力で動く駆動体験ができます。

5号トンネル

99m

6号トンネル

333m

モミジ山とピクニック河原

6号トンネル地表の山頂にはエノキの巨木(山おやじ)やモミジの群落の中に200mの周回路を設置。その先の玉野古道先には広い河原があります。(健脚者向け)

玉野古道

多治見から名古屋への街道として明治28年(1895)に開通。しかし翌年の29年、中央線工事のため寸断され、たった1年だけの“幻の街道”になりました。古道を過って、出口方面に戻れます。(健脚者向け)

廃線の落とし物

廃線の整備中に発見した大釘など部品や工具など様々な残存物を展示しています。

所要時間

片道1.7km 往復3.4km 約2時間の散策コース



11月28日(火)に愛岐トンネルの恒例の紅葉見学会に参加しました。JR定光寺駅に10時集合し、ご参加頂いた会員は、安藤(幸)さん、安藤(武)さん、小島さん、成田さん、髭右近さん、福田さん、八島さんと西村の8名です。定光寺駅では、愛岐トンネルの紅葉を愛でる人で人、人、人でした。とても気持ちいい秋晴れで紅葉日和となりました。まず、受付する為、急な階段を上り、参加料100円を払い、しおりを頂く。暫く進むと、3号トンネルに到着。大きなSL実物大の大幕を潜り、持参した懐中電灯で足元を照らしながら進む。トンネルを出て、竹林を過ぎると、76mある4号トンネルに到着。そこで全員写真撮る。トンネルを抜けると、今が盛りの大もみじの紅葉を愛でる。その後マルシェ広場に到着。ベンチで休憩後、その場で解散。もっと見たい人はその先を進むが、午後予定のある会員は引き返して定光寺駅へ。列車が1時間に2本しかないの、乗り遅れしないように戻る。

今回、ご参加された会員様は初めて来た方が多く、綺麗なもみじを一度見たかったとのことでした。天気に恵まれ皆さん大満足の秋の1日となりました。また、今後もイベント等に絡めて企画したいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。



6172 4号トンネルの入り口で全員？(安藤(幸)さんが見当たらない)



6165 受付の為並んで待つ



6166 見事な紅葉



6167 ニット帽の安藤(武)さん



6168 急な階段を登る



6170 紅葉に包まれて



6173 トンネルから紅葉を見る



6174 トンネル内は薄明り



6175 天気に恵まれ最高



6177 お元気な髭右近さん



6178 もみじのグラデーション



6179 成田さんと小島さん



6183 暫しベンチで休憩



6186 西村もご一緒させて頂く